

被災地の子ども達のために居場所を

遊び場不足、狭い仮設住宅で高まる必要性

いつもお祈りとご支援感謝致します。2月に入り、いよいよ寒さが最も厳しい時期になりました。被災地の今年の冬は例年に比べ気温が低く、雪が多いとみなさん口をそろえておっしゃっていました。

寒い東北の地で、僕の体が寒さに慣れてくる頃にまたもっと寒くなっていくので、結果的に寒さに負ける日々です。道路も度々凍結し、ヒヤリとすることもあります。今のところ

祈りに支えられて無事です。引き続きお祈り下さい。



僕たちが活動させていただいている大船渡市や釜石市の仮設住宅には、場所によって人数は様々ですが子ども達が住んでいます。写真の男の子2人は、僕たちが来ることを楽しみに待っていてくれるおともだちです。この仮設では

自己紹介



子ども向けのイベントをするわけでもないのですが、会いに行って「一緒に遊ぼう」「何して遊ぼうか?」と声をかけて、その場の流れで遊びを決めています。この日は何となく僕が絵を描きたくて、2人の賛成を得て、なんとなく「春」というテーマで描きあげました。僕が一番絵心がありませんでした。この絵を描くことを通して、彼らが「めっちゃ絵が上手」ということに気付くことができ、その才能を褒めました。本当に素敵な絵でした。この日は、他にもすごろくや同じ仮設に住むおばあちゃんも参加してミニボーリングをして遊びました。

仮設住宅は学校や運動公園などのグラウンドに建っている場合も多く、体育などは体育館でしているそうです。運動不足により免疫力が低下し風邪をひきやすくなることなども心配されています。

最近、仲良くなった子ども達とは駐車場でサッカーをしました。ゴールもなく周りに柵もない環境とは言えませんが、今は数少ない彼らの遊び場となっています。また仮設住宅の中も決して



広いとは言えず、中では走り回ることも出来ません。

僕たちは、そんな状況にある子ども達に、集会所でお楽しみ会を開くなど居場所を提供しています。しかし、一番大切なことは「心の居場所」だと感じています。子ども達への心のケアが十分とは言えない今、彼らのとなりで寄り添い続ける存在が必要だと考えます。

大船渡・釜石チームメンバー紹介

イエン

「何でも大丈夫」と何でもこなす。

おばあちゃんから、娘みたいと親しまれ、息子を紹介されることも多い。中華料理がとてもおいしくて、仮設に住む方にも喜ばれている。どんな試練にも耐える強い心と夫を支える優しい心を兼ね備える。スタイリストとして働いた経験もある。

リーダー：エディ

「リーダーは俺じゃない、神様だ」が口癖のユースパスター。

見た目は20代前半だけど、30歳のエディはアメリカの大学卒業後、香港で就職しその後神学校を卒業した経歴を持つ。母教会では牧師（ユースパスター）をしていた彼は、一緒にバスケットをする若者に大人気である。



遠野名物ジンギスカン

羊肉の焼き肉。個人的には牛肉のほうが好き。



タカ（オス）エディたちの飼い犬「ワン」が口癖。仮設の方に、すごく人気で皆さんの心を癒している。人間で言えば30歳くらい。

ストン（ブタの人形）

体育座りしているブタ。ともを癒す。



手作りチョコ配り「与える心」を学ぶ

今月はバレンタインデーに合わせ、子ども達と一緒にチョコレートを手作りしました。溶かしたチョコを型に入れて、それぞれ自分の好みに合わせてトッピングしていきます。固める時間には、一緒にゲームをして遊びました。その後、短期ボランティアで参加した方は、子ども向けバイブルを使いながら、「5つのパンと2ひきの魚」のストーリーを話しました。この話から、「みんなと分かち合いたい」と思いを持ち、与える気持ちがあれば、素晴らしいことがきっと起きるということを皆で考えました。出来上がったチョコを小分け袋に入れて、メッセージカードも入れました。そこには、家族や友人に向けた日頃恥ずかしくて言えない感謝の気持ちが書かれていました。またこの日来れなかったおともだちの仮設の家にも一緒にチョコを配ることができました。

支援物資としておもちゃなどをもらうことも多い子ども達ですがこの日は、与える心を持ちつつチョコを配ることができ、いつもと違う清々しい一日となっているようでした。



東日本大震災の津波を体験されたおばあちゃんのお話（釜石市）

チリ地震の津波の時は、地震がなかったから揺れなかった。その時は津波がくると騒いでいたが、私たちの地域はそれほど被害はなかった。だから今度の（東日本大震災の）津波は初めての天津波だった。今回の津波は警戒した。津波のことは、これから先の子ども達にも伝えていかなければならない。私たちは先はもう長くないから。

津波が来たらとにかく逃げろと伝えたい。逃げなきゃだめ。後から「あれも持っていかない」「これも持っていかない」と家に取りに帰ったらいけない。家に物を取りにいった人はほとんど流されてしまった。津波を見に行くと言っていて、海岸の方へ行ってもダメ。命が一番だから。

震災があって何日か経って、隣町に住んでいる高校生の孫と電話で話した時は涙が出た。津波の時は、小学生と中学生の身も案じた。釜石の奇跡と呼ばれるが学校の先生は「奇跡ではない」と言っていた。訓練の成果だと。その小学校に通っていた孫は「ばあやん、おともだちと手をつないで逃げたよ。体が大きいともだちだったから、引っぱるの大変だったよお」と話していた。私は「偉い、偉い」と褒めた。



活動報告	2月1日	足湯マッサージ(大船渡市)	今後の活動予定	2月19日	練馬グレース教会訪問（練馬区）
	2月4日	子どもお楽しみ会(釜石市)		2月20日～27日	宣教師サミット（香港）
	2月11日	チョコレートパーティ(大船渡市)		3月31日	友人の宣教師の結婚式（和歌山県）
	2月14日	バレンタインチョコ配り(大船渡市)		4月13日～23日	活動報告会（山口・佐賀県）

祈りの課題

- ・ 仮設住宅に住むおばあちゃんが1名イエスさまを受け入れました。これからも、聖書のお話をするなどのフォローアップをしていきたいので、お祈りお願いいたします。
- ・ いよいよ今月世界中の宣教師が集まるサミットが香港であり、参加します。世界中で今何が起きているのか話を聞いたり、祈り合ったりします。素晴らしい時となるようにお祈り下さい。
- ・ 被災地に手紙を届けるプロジェクトを計画しています。祝福されるように。

今月のぬりえ

瀬 知行 山口県出身 平成元年8月9日生まれ 22歳 保育士

瀬知行を支える会の住所: 山口県山口市大内長野 633-1

ブログ:「ともだちだよブログ」<http://blog.livedoor.jp/tomotomodati/>

支援献金の方法

私の活動は皆様の支援献金によって支えられております。経済的支援にご協力して下さる方はお手数ですが、以下のいずれかの方法で口座にお振込下さい。

ゆうちょ銀行口座番号: 01350-2-99626 名義: 瀬知行を支える会

他行からの振込 店名(店番) 一三九(イチサンキュウ) (139)

預金種目: 当座 口座番号: 0099626「瀬知行を支える会」

郵貯振替口座番号: 01350-2-99626 名義「瀬知行を支える会」



「ぬりえ」大募集！！

応募資格: 英検3級の方
 応募方法: ハガキ限定
 アットホームな職場です。
 元気で明るい方歓迎！